

四ッ葉だより

No. 105
2014.05

四ッ葉園畑のコマツナ

ごあいさつ

理事長 青戸 稔

新緑の季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は四ッ葉福祉会へ格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。平成二六年度も早や一ヶ月が過ぎ、四月から新たに利用を開始された方々も、少しずつ環境に慣れてこられたところです。

四ッ葉福祉会が、障がい者自立支援法に基づく新体系に移行を終えてから二年余り。この間、法律は障がい者総合支援法へと変わり、今後は新会計基準への移行を控えるなど、障がい福祉を取り巻く環境はまだまだ激動のさなかにあります。

また、厚生労働省でも「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」が設置され、経営の高度化と透明性の確保、地域における新たな課題に因應するための公益的・福祉的な役割がますます求められるなど、社会福祉法人には今後、その名にふさわしい国家や地域への貢献が、より強く求められていくことになると思われます。

我々も、これまで以上にしっかりと利用者の皆様と向き合い、サービスの質の更なる向上に努め、同時に、培ってきた歴史を踏まえつつ、社会福祉事業の主たる担い手としての自覚を強め、事業体系の見直しを含む自主的な経営基盤の強化を図ってまいります。

今後とも四ッ葉福祉会へのご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

ところで、本年度は法人設立第三〇期に当たります。節目となるこの年、平成一九年以来となる旅行企画を行ないたいと思ひ、各事業所で計画を温めているところです。利用者様にはどうぞ日々の励みにしていただき、多数の参加を願っております。

最後になりましたが、本年度の皆様の御多幸を衷心より祈念し、挨拶とさせていただきます。

ホームページリニューアルから1年半

当福祉会のホームページのリニューアルから間もなく1年半が経とうとしています。読者の皆さんはホームページはご覧になりましたか？四ッ葉福祉会最新の活動情報や事業内容、製品や事業所の紹介など、パソコンで見ることができます。

今後もホームページでの情報発信も充実させていきますので、まだご覧になっていない方、しばらくアクセスしていない方も是非チェックしてみてくださいね。↓↓↓



四ッ葉福祉会

※「四ッ葉福祉会」で検索

検索

<http://www.yotsubaen.or.jp/>

自閉症支援者研修

3月8・9日の2日間、出雲市民会館で行われた自閉症支援者のための研修に参加させて頂きました。

講師は川崎福祉大学の重松孝治氏で、多数の施設へ行かれ、自閉症の方々への支援に携わっておられる方です。

研修1日目は「自閉症の特性理解に応じた支援の実施」との題目で、自閉症の特性を学ぶ研修でした。

2日目午前の題目は「ストラクチャー・ティーチング・自閉症支援の基本として」ということでストラクチャー・ティーチング(構造化)について学びました。午後は、午前に学んだ「構造化」について演習を行いました。

研修内容はすべて重松先生が関わったケースであり、実態に基づいたもので、とてもわかりやすい説明を受けました。

今回の研修を受け、日々の作業・生活支援で「構造化」を取り入れられるケースが多くある事に気づき、また構造化することの大切さを学びました。

今後、日々の支援で生かしていきたいと思っています。

四ツ葉園 大西 晴幸

研修報告

四ツ葉福祉会

「安全の日」研修

四ツ葉福祉会では毎年2月24日を「安全の日」と定めており、この時期に利用者事故・職員事故の防止のための様々な取り組みを行っています。

本年は3月5日に、各事業所サービス管理責任者以下40名の職員が集まり、リスク管理に関する研修を開催しました。

法人リスクマネジャーによる講話や、KY(危険予知)シートを用いてのKY訓練の実施など、参加した職員は皆真剣に取り組んでいました。

利用者様、職員双方に安全を確保し続けられるよう、これからも研鑽を続けていきます。



▲KY(危険予知)訓練



▲リスク管理の講話のようす

参加職員の感想

研修を受講し、私たちの仕事は常にケガや事故と隣り合わせであり、日々のKY活動の重要性を改めて感じました。

利用者様と関わる上で、どこにどのような危険が潜んでいるのか、意識を高めて支援にあたることの大切さを忘れず、事故のないよう努めたいと思いました。

アクティブ'99 吉岡 裕美

「安全の日」の研修を終えて、日々の業務の中での危険予知の大切さを学びました。

私自身はまだ事故に遭遇したことはありませんが、毎月のヒヤリハットに報告した項目は数件ありました。事故が起こってからではもう遅いので、今までのヒヤリハット報告・KY活動を共有し確認しながらKY活動の実践を日々行い、業務における危険項目を更に確認しながら業務を行なって参りたいと思います。

アクティブよつば 長岡 聡

安全の日の研修に参加させて頂いたばかりがとうございました。福祉の世界では拘束し、安全を確保するのではなく、自由がある中での自立支援と安全の確保をしていかなければいけません。

これまでも職場では、利用者様の行動の先をいき、事故等を未然に防ぐことが大切だと教わってききましたが、その為にも普段からKY活動を行い危険予知の能力を身に付けることが大切なんだと思いました。今回の研修で学んだ事を忘れず、今後の業務に活かしていきたいと思っています。

授産センターよつば 吉野 美保

四ッ葉園 春のディナーパーティー

さる 3 月 28 日に今年度最後の行事となる春のディナーパーティーがホテル一畑で行われました。開催前より利用者様もとても楽しみにしておられ、当日はおしゃれをして出かけました。

パーティ中は終始和やかな雰囲気であり、ゆっくりとフランス料理のフルコースを楽しんでおられました。笑顔あふれるパーティとなり思い出に残る行事となりました。

四ッ葉園 石川 真美子



総勢 217 名の大所帯！
賑やかに乾杯～！

ホテルの自慢の美味しい
コース料理に舌鼓



おしゃれをして皆でディナー★
本当に楽しいひと時でした

やすらぎの家 外出活動



やすらぎの家では、毎月外出活動を計画しております。

公共施設への外出や少人数グループでの買い物実習を行なっています。

4 月は北公園にお花見に出かけました。桜もきれいに咲いていましたが利用者様の満開の笑顔も見ることができました。

「楽しかったよ」「また出かけた」、そんな利用者様のことばに、これからも応えていきたいと思っています。

やすらぎの家 サービス管理責任者 坂本 弘子

事業所紹介 5

障がい者支援施設

四ッ葉園（日中生活介護、夜間支援）

昭和60年4月に開所した授産施設 四ッ葉園は、平成24年4月より新体系に移行し、現在は「障がい者支援施設 四ッ葉園」として、施設入所支援事業（定員60名）、生活介護事業（定員60名）、短期入所事業（空床4名、併設4名）、日中一時支援事業を行っています。利用者様の高齢化、障がいの重度化が進む中、利用者様の声に耳を傾け、希望されていることを支援のヒントとしつつ、利用者様個々の真のニーズを見出し、それぞれの方の人生に寄り添い、それぞれの方に合った支援を提供することを目指しています。

生活介護事業を利用されている方は、大半が施設入所支援事業の利用者様でもあるため、日中と夜間の丸一日、利用者様の様子を見守れるという利点があります。この点を生かして、日中と夜間の支援を連動させ、方針を統一したきめ細かい支援を提供することで、利用者様に充実した穏やかな日々を送っていただけるよう努めています。

また、通所でご利用の方や、短期入所・日中一時支援を利用される方にも、ご家族とよく相談した上で、専門機関とも連携を図りながら、よりよい環境を提供できるよう、日々改善を試みています。

利用される皆様に、本来持つておられる能力や可能性を更に拡げていただけるよう、職員一同、より専門性を高めて努力していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

サービス管理責任者 安部 実佐

行事予定

2014年5月～2014年9月

5月	2日（金）	春季休暇帰省日
	6日（火）	帰園日
	12日（金）	全体集会
	11日（日）	遠足（授産センターよつば）
	15日（水）	工賃支給（授産センターよつば）
6月	17日（土）	保護者会（授産センターよつば）
	23日（金）	工賃支給、理事・評議員会
	25日（日）	天神市、遠足（授産センターよつば）
	10日（火）	全体集会
7月	13日（金）	工賃支給（授産センターよつば）
	25日（水）	工賃支給、天神市
	10日（木）	全体集会
8月	11日（金）	ガーデンパーティー
	15日（火）	工賃支給（授産センターよつば）
	25日（金）	工賃支給
	8日（金）	全体集会
	12日（火）	盆帰省日、工賃支給（授産センターよつば）
9月	16日（土）	帰園日
	22日（金）	家庭実習報告会
	25日（月）	工賃支給、天神市
	28日（火）	理事・評議員会
	10日（水）	全体集会
9月	12日（金）	工賃支給（授産センターよつば）
	25日（金）	工賃支給、天神市

奇贈

ありがとうございます。

ソファ等の奇贈

2月3日、安来市飯島町の（有）家具ランド田中さま（代表取締役 田中道夫様）より、四ッ葉園にソファ一式とフラワーボックスの奇贈をいただきました。利用者様の憩いの場であるディールームにて、大切に使用させていただきます。田中様、この度ありがとうございます。

電動ベッドの奇贈

3月27日、松江市上乃木町の津戸さまより、授産センターよつばに電動ベッドの奇贈をいただきました。利用者様の日常生活に役立つよう、大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



編集後記

年度が変わり、国内では消費税が17年ぶりに5%から8%へと増税となりました。皆さまの家計や職場においても大小様々な影響が表れていることと存じます。

経済成長や景気回復への期待、その反面震災復興の遅れ、格差や、生活弱者などの問題も絶えません。移りゆく時代の中で、福祉に携わる者が果たすべき役割は何であるかを考え職務に励みたいのです。

本年度も四ッ葉福祉会を宜しくお願い致します。

広報委員会一同

四ッ葉だより No. 105
平成 26 年 5 月 1 日発行

発行所
社会福祉法人 四ッ葉福祉会
〒690-0121 松江市古志町 1551-4
TEL：0852-36-8877
FAX：0852-36-8894
URL：http://www.yotsubaen.or.jp/

編集・印刷
四ッ葉福祉会広報委員会

※本紙に使用した写真等は本人・家族の方の了解を得ています。